

草の根通信

号外

サンフランシスコ・ベイエリア大会 **速報**



第20回日米草の根交流サミット・サンフランシスコ／ベイエリア大会は、2010年8月24日から31日まで、サンフランシスコと周辺の各郡で開催されました。日本からは250名の参加を得て過去最大規模となり、現地でのホストファミリー確保には苦労もありましたが、「素晴らしい体験をした」「感動した」という感想がたくさん寄せられています。

大会参加者数： 日本からの参加者：約250名
参加者総数：約3200名（日本からの参加者、現地のホストファミリー、ボランティア、ゲスト等）

イベント別参加者： 1) SFジャイアンツ観戦：約650名
2) オープニング・セレモニー参加者：約610名
3) クロージング・セレモニー参加者：約550名

大会スケジュール（旅行日程）

8/24(火)	参加者・日本出発 サンフランシスコ到着 市内観光 ジャイアンツ戦観戦	<セントフランシスホテル>
8/25(水)	ローカル・ツアー オープニング・セレモニーとウェルカム・レセプション	<セントフランシスホテル>
8/26(木)	地域分科会へ出発	<ホームステイ>
8/27(金) ～28(土)	地域分科会プログラム	<ホームステイ>
8/29(日)	各地域からジャパントウンへ移動 クロージング・セレモニー ジャパントウンお祭り	<ホテルカブキまたはホテルトモ>
8/30(月)	成田へ向けて出発 またはオプション・プログラムへ参加	
8/31(火)	帰国	

SF市内観光、パイオニアミュージアムで日米野球交流イベント（8月24日）

サンフランシスコ空港到着後は、咸臨丸ゆかりの場所や市内の名所を観光。また、パイオニア・ミュージアムにて、日本人大リーガー第1号の村上雅則氏の講演や、日米野球交流の展示を見学。



日本人墓地



パイオニアミュージアムでの村上雅則氏スピーチ



パイオニアミュージアム

サンフランシスコ・ジャイアンツ戦 (8月24日)

試合前のイベントでは、村上雅則元投手、徳川恒孝氏、マシュー・ペリー氏、アマコスト実行委員長、渡辺理事長他がフィールドで紹介された後、SFのヒップホップダンス、宮城からの津軽三味線にあわせたモダンダンスが披露された。外野席の大スクリーンには、松井秀喜選手からの歓迎メッセージと、サミット大会の紹介も投影。



フィールドでのイベントでサミット関係者を紹介



松井秀喜選手からのビデオメッセージ



SF ヒップホップチームと宮城 モダンバレエ

ローカル・ツアー (8月25日)

5つのローカル・ツアーが催され、参加者は希望のツアーに参加。また、サンフランシスコ滞在の約40名は、ジャーナリスト・松尾文夫氏の講演を熱心に聞きました。



ショッピング&ウォーク



松尾 文夫氏セミナー



モンテレー、カーメル、サリナスツアー



ゴールド・カントリーツアー



ワイン・カントリーツアー



シリコン・バレーツアー

★参加者の声★

モンテレー・カーメル・サリナスのツアーに参加。「あのスタインバックのエデンの東だ」と、女学生のころにタイムスリップしてしまいました。ツアーリーダーのワダさんはお話が上手で、日本からの戦前の移民が収容されたお話、その後農場で大成功した方々のお話もしていただき感動しました。(S.S.さん、女性)

オープニング・セレモニーとウェルカム・レセプション (8月25日)

夕刻、セント・フランシスコホテルのホールで、いよいよオープニング・セレモニーを開始。柴田雅人氏の津軽三味線に続き、グライダンサンプル合唱団に率いられて日本人参加者全員が着席。式典参加者数は610名。その後、最上階(32階)にてウェルカム・レセプションがにぎやかに催されました。



藤崎 一郎
在アメリカ合衆国日本国大使



アマコスト前駐日大使
実行委員長



渡邊 泰造
CIE 理事長



光岡 英行
在サンフランシスコ
日本国領事館代行



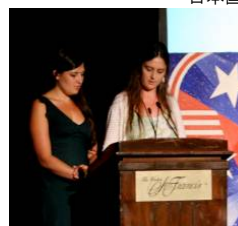
司会
ジャン・ヤネヒロさん



徳川 恒孝
徳川宗家 18代当主



ペリー提督の子孫、
マシュー・ペリー氏



デーモン牧師の子孫
エズメ&ジュリア・デーモン姉妹



アーノルド・シュワルツェネッガー
カリフォルニア州知事からの
ビデオメッセージ



ホイットフィールド船長、
ジョン万次郎の子孫による
地球儀交換



津軽三味線



グライダンサンプル合唱団



高橋裕子ダンスカンパニー「波：太平洋漂流」

★参加者の声★

- セレモニーは、期待どおり大変すばらしくこのようなサミットに参加できたことを誇りに思います。(A.S.さん、女性)
- 思いもかけず州知事からのビデオでお言葉をいただき感動いたしました。(A.A.さん、女性)
- 次々と起こるイベントに、ダイナミックさを感じて興奮を味わいました。(J.N.さん、女性)



鏡割り



鏡会による餅つき



歓迎パーティー

地域分科会—ホームステイ・プログラム 8月26日(木)～8月29日(日)

8月26日午前、参加者は地域分科会に出発。11の地域やテーマ別の分科会に分かれ、ホームステイをしながら現地の方々と交流を深めました。(サンフランシスコはA～Cの3グループ)
() カッコ内は参加者人数



1. マリン郡 (9)



2. ソノマ郡 (17)



3. ソラノ郡 (16)



4. コントラ・コスタ郡 (19)



5. アラメダ郡 (19)



6. サンタ・クララ郡 (25)



7. サン・マテオ郡 (7)



8-A. サンフランシスコ A (21)



8-B. サンフランシスコ B (22)



8-C. サンフランシスコ C (10)



9. 日系アメリカ人との交流 (17)



10. ナパ郡 (10)



11. ギロイ (5)

★参加者の声★

- アメリカに行くまで毎日不安でした。でもホストマザーと子ども2人が迎えに来てくれて、花の首飾りをかけてくれた時から、笑顔になりました。アメリカがもともと好きだったけれど、今回もっと好きになりました。日本に帰る日は、泣きそうになるぐらい帰りたくなかったです。(M.Aさん 14歳)
- 小学校では授業を体験し、言葉の壁を乗り越えていっしょに遊びました。一生の思い出ができました。ホストファミリーはいろいろな所につれていってくれて、別れの時には思わず涙が出てきました。あのような気持ちになったのは初めてのことでした。僕は、この大会を通じて、英語はもちろん、人に優しくすることの大切さを学びました。(T.Eさん 13歳)
- 2回目の参加ですが、サミットの素晴らしさは、全く知らなかった米国の方々とプログラムを通じて親密な関係を築く「魔法の術」を持っていることです。綿密な計画のもとに実施され、短く思う8日間で大きな感動を与えられました。(R.Hさん 男性)

クロージング・セレモニー (8月29日)

地域分科会終了日、29日午後3時から、ジャパントウン内のホテル・カブキで、ホストファミリーを交えてクロージング・セレモニーを開催。約550名が参加。挨拶に続き、分科会を振り返った後は、翌年の高知大会のアピールも。その後は、ジャパントウンで開催された咸臨丸150周年記念の盆踊り大会を楽しみました。



アートプロジェクト



リチャード・ウッド
C I E - U S 理事長



サンフランシスコ・ベイエリア大会
貢献者の紹介



映画「はりまや橋」監督
アaron・ウールフォーク氏



クロージング・セレモニー会場



ジャパントウン よさこい踊り



ポスト・サミット・オプショナル・プログラム (8月30日～)

大会終了翌日の30日からは、5つのオプショナル・プログラムを開催。サンフランシスコ延泊、シアトルでのマリナーズ観戦、コロラド・スプリングス、ワシントンDC、またフェアハイブンでのホームステイで、さらなる文化体験と友情を深めました。



コロラドスプリングスホームステイ



ワシントン DC ホームステイ



フェアハイブン～フリー



シアトル・マリナーズ観戦



サンフランシスコ延泊フリー

★参加者の声★

- ワシントンでは、オーウェン夫妻から国会議事堂や美術館をご案内いただき、その後郊外のシェナンドー国立公園をドライブしました。圧巻はタエコさん宅での日本風呂入浴と日本食パーティでした。感謝。(N.K.さん、男性)
- ニューベッドフォードの万次郎の通った学校や、ホイットフィールド船長宅から見た眺め、船長のお墓参りなど、現地の方々の温かい熱意と努力を感じ、大きな驚きと感動を覚えました。(T.T.さん、女性)



SBGS 2010
San Francisco Bay Area Grassroots Summit



SBGS 実行委員会の皆さん



リージョナル・リーダーの皆さん



ローカルツアー・リーダーの皆さん



財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL 03-3511-7171 FAX 03-3511-7175
URL: <http://www.manjiro.or.jp>